

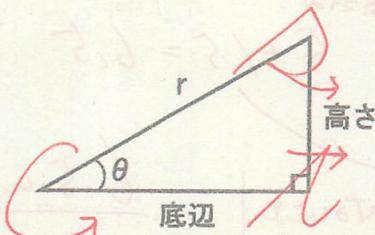
2019/7/19

基礎数学 到達度確認 三角関数

学籍番号	
氏名	

解答

- (1) 次の直角三角形の底辺と高さを、rとθと三角関数を使って表わしなさい。



$$\text{底辺} = \frac{r \cos \theta}{\text{高さ}} = r \sin \theta$$

逆にする
99!

- (2) 次の値を求めなさい。

※必ず図を描くこと。

$$\sin 30^\circ = \frac{1}{2}$$

$$\cos 30^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\tan 30^\circ = \frac{1}{\sqrt{3}} \quad (= \frac{\sqrt{3}}{3}) \quad \leftarrow \because \tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta} \quad \text{よりOK.}$$

$$\sin^2 30^\circ + \cos^2 30^\circ = 1$$

← どんな角度でも常に。

$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \quad \text{が成立する}$$

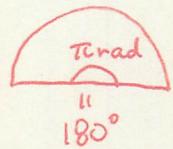
- (3) 次の角度を、弧度法で表わしなさい。

$$180^\circ = \frac{\pi}{\text{rad}}$$

※半円の180°と対応する

$$20^\circ = \frac{\pi}{9} \text{ rad}$$

$$\frac{20}{180} \text{ 倍} = \frac{1}{9} \text{ 倍}$$



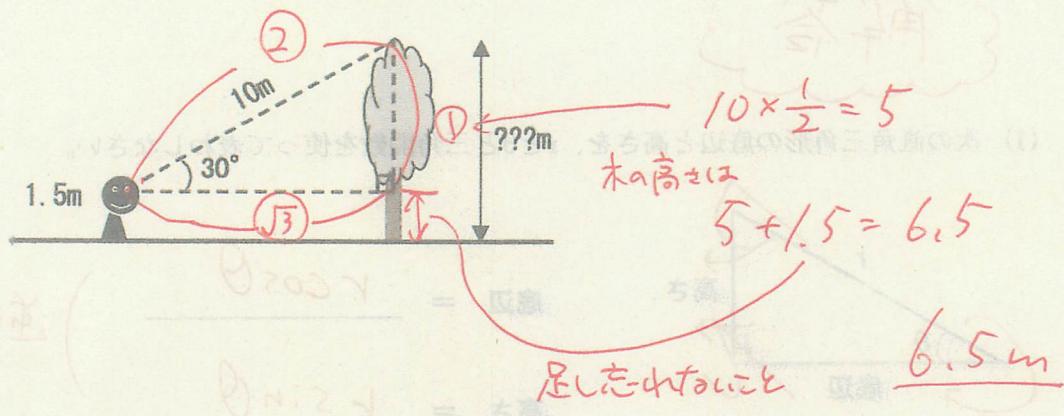
半径5m、弧の長さ7mの円弧の中心角は、

$$\frac{7}{5} (= 1.4) \text{ rad}$$

$$\ast \text{ 中心角 (rad)} = \frac{\text{弧の長さ}}{\text{半径}}$$

 $\frac{7}{5} \pi$ mm いじる人が
大量にいました！

- (4) 1.5mの高さに目がある人が、木のてっぺんを見上げたところ、てっぺんまで距離が10m、角度が 30° でした。この木の高さを求めなさい。



- (5) $\triangle ABC$ において、 $a=6$, $A=45^\circ$, $C=30^\circ$ のとき、 c を求めなさい。

※ヒント：正弦定理を使うこと。

$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = 2R$$

余弦定理も暗記！

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$$

\rightarrow あとはくどく (外接円の半径)

$$\frac{6}{\sin 45^\circ} = \frac{c}{\sin 30^\circ}$$

$$c = \frac{6 \cdot \sin 30^\circ}{\sin 45^\circ} = \frac{6 \cdot \frac{1}{2}}{\frac{\sqrt{2}}{2}} = 3\sqrt{2}$$

\leftarrow 計算ミス注意！

- (6) $\triangle ABC$ において、 $a=5$, $b=6$, $c=9$ のとき、この三角形の面積を求めなさい。

※ヒント：ヘロンの公式を使うこと。

$$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}$$

ただし $s = \frac{1}{2}(a+b+c)$

\rightarrow あとはくどく。

$$s = \frac{1}{2}(5+6+9) = 10$$

$$S = \sqrt{10(10-5)(10-6)(10-9)}$$

$$= \sqrt{10 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 1} = 10\sqrt{2}$$

\leftarrow こも計算ミス注意！